



東京の会通信

No.229

2010年5月1日号
(毎月1回1日発行)

発行：公的骨髄バンクを
支援する東京の会
〒160-0005 東京都新宿区
愛住町23 Woody21-9F
TEL：03-3354-6377
(FAX兼用)



<http://www.marrow.or.jp/tokyo/>
e-mail:marrow_tokyo@yahoo.co.jp
定価 100円

心機一転！それぞれ再出発！

新キャラクター誕生！名前募集！

東京の会設立20周年を記念して、この1年間いろいろな活動を続けてきましたが、その集大成として、東京の会の顔となる新しいキャラクターが誕生しました。

生みの親、作者は愛本みずほさん(漫画家・代表作に『だいすき!!ゆずの子育て日記』他、多数)です。彼女は骨髄バンクや障害者サポート等のボランティア活動にも積極的に参加している大阪在住の笑顔が可愛い女性です。

東京の会のメンバーとも交流があり、キャラクターを作ってくださいとお願いしたところ、ご多忙中にもかかわらず二つ返事で快諾して下さいました。これからの東京でのバンクPRの顔として、皆様に愛されるよう、大切に育てていきます。

そこで、この可愛いふたつのキャラクターの名前を募集いたします！

[A:女の子] [B:しずく] のそれぞれに、誰からも親

しまれる名前を付けてください！

応募は東京の会のメールアドレス宛に。募集締め切りは5月末日。発表は6月25日に開催される東京の会総会で行います。多くのご応募をお待ちしています！

(大橋一三)



[A:女の子]

[B:しずく]

無断転載禁止

野球部第二章スタート

4月29日に、休部中であった東京の会野球部バガボンドが復活し、第二章としてスタートしました。

東京の会メンバー名川さんが相手チームとグラウンドを確保して下さい、私も新メンバーとして参加することになりました。野球経験は小学生の時しかありま

日本骨髄バンクの登録患者と検査済登録ドナー (平成22年3月末日現在)

	ドナー(全国)	ドナー(東京)	患者(全国)
登録者累計	380,457	53,386	32,558
3月登録分	2,414	203	241
3月抹消数	1,102	144	-
実質登録増	1,312	59	-

患者とドナー登録・適合状況(3月末日現在)

ドナー登録受付者数(累計)	499,469人
ドナー登録抹消者数(累計)	119,012人
有効二次検査済ドナー数	380,156人(3月1,331人増)
二次検査適合ドナー数(累計)	241,125人
実質登録患者実数(現在)	2,654人(国内1,479人)
HLA適合患者数(累計)	26,437人(患者累計数の81.2%)
非血縁移植実施数	12,779例(3月実施86例)

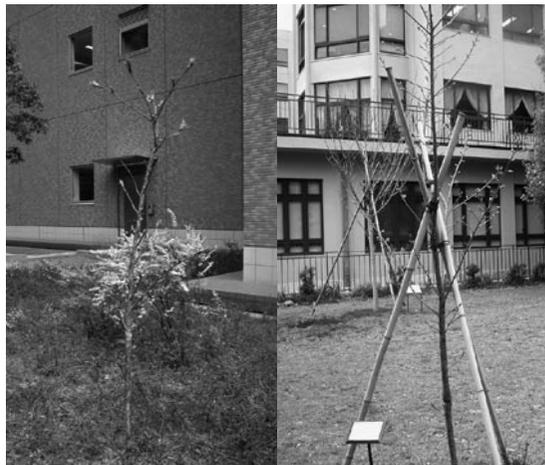
桜の花は気長に待ちましょう！

今年はおもしろい花が咲くかなと期待を持って、2年目を迎えた骨髄移植1万例記念植樹の桜を4月8日に訊ねました。一つは一昨年3月に植えた東大医科研新病棟脇の福祿寿、もう一本は同年4月に聖路加病院小児科病棟前庭に植えた福祿寿の2本です。

最初に訪れたのは東大医科研です。東京メトロ南北線白金台駅を降りて医科研の正門を入ると桜の古木が満開で歴史のある建物に色を添えています。1号館の裏側の新病棟まではやる気持ちを抑えてたどり着くと、新芽を出しかけていますが蕾はまだついていません。桜って花をつけるのに何年もかかるんだなと実感しました。でもしっかりと根付き、元気な芽を吹いてくれているので安心しました。

次いで東京メトロを乗り継ぎ、築地の聖路加病院を訊ねました。こちらも今年は花はついていませんが背丈は植樹時の倍ぐらいの5メートルを超え、すくすくと成長しています。3本の新しい支注が高い支点に添えられていました。

桜の木も子供と同じです。気長に成長を見守っていれば、やがてそれぞれの美しい花を咲かせてくれることでしょう。
(新田恭平)



左：医科研新病棟脇の福祿寿、右：聖路加小児病棟前庭の福祿寿

東京で一番 しあわせな SAKURA

昨日こっそりと帝京大学医学部付属病院内に骨髄移植1万例を記念し植えられた、ジンダイアケボノに逢って来ました。1月に東京の会メンバーと「しらたま・おしゃべり会」(帝京大学医学部付属病院 院内血液患者会)に参加させて頂いた頃より、さらにず〜と成長していました。周囲の綺麗に咲き誇ったソメイヨシノの中で、今年も周囲のみんなと一緒に咲けないかと思えます。でも「そんな事なんて ちっとも恥ずかしくないぞ」と叫びたかった。どうか地道にゆっくりと一歩一歩確実に成長をして、いつの日か立派な大樹に成長して下さい。

ガードマンさんに挨拶をして、わずか3時間半だけ撮影を楽しんで来ました。でもそれにより、素晴らしいお話を聞かせてもらえました。病院の職員さん達が、毎朝水を与え時々肥料も与えて下さっているそうです。大勢の方々の優しさに見守られた「東京で一番 しあわせな SAKURA」に敬意を払います。

しかし「もっと頑張れ」とは言いません。どうか全力で闘ってグイグイ強い樹になって下さい。絶対に屈

しないという「あの毅然とした姿勢」にホンモノの勇氣を学ばせて頂きました。私たちの事を、ここまで悲しませ苦しめてきた血液疾患が世界中から、すべて無くなるまで見守っていて下さい。自分も全力で、この問題解決へのお手伝いを続けさせて頂きます。

以上、闘病カメラマン鳥羽からの報告でした。

(鳥羽雅行)



東京ドナー登録会 予定(5月)

- | | |
|-------------------------|-------------------------|
| 5/5 (祝) 上野公園献血会場 (台東区) | 5/19 (木) 杉並区役所 (杉並区) |
| 5/8 (日) 東京キリストの教会 (渋谷区) | 5/26 (木) 葛飾区役所 (葛飾区) |
| 5/18 (水) 赤羽駅東口 (北区) | 5/27 (金) 日本大学法学部 (千代田区) |
| 5/18 (水) 板橋区役所 (板橋区) | |

献血ルームでの活動スケジュール決定

今年の献血ルームにおけるドナーリクルート活動のスケジュールが決定しました。

前月号でお知らせした内容から、震災に伴う活動見直し等に変更になりました。

日程と活動場所は以下になります。

◎活動スケジュール

- 5月28日(土) 有楽町献血ルーム
- 7月23日(土) 新宿東口献血ルーム
- 8月13日(土) 献血ルームぶらっと(池袋)
- 9月10日(土) ハチ公前献血ルーム(渋谷)
- 10月2日(日) 有楽町献血ルーム

12月10日(土) 献血ルームぶらっと(池袋)

3月10日(土) 新宿東口献血ルーム

今後、各ルーム担当者との最終調整に入ります。ただ、震災等の影響もあり、一部スケジュール・場所に関しては再度調整が入る可能性があります。

確定した個々のスケジュールに関しては、東京の会通信やホームページでご案内します。

早速、5月末から活動を開始します。皆様、どうぞご協力をお願いします！

あやちゃんカレンダー完売！

東京の会20周年記念の「2011年あやちゃんの贈り物カレンダー」は、4000部作成し、無事完売することができました。ご報告が遅れましたが、購入して頂いた方々や、販売に尽力して下さい皆様にご心よりお礼申し上げます。

申込みのファックスや代金払込用紙、また電話でも、心温まるコメントがたくさんありました。あやちゃんの絵が持っている魅力を、制作スタッフ一同、あらためて確認致しました。

頂いたコメントの一部をご紹介します。

- あやちゃんの絵は色使いがとても良く、少女らしい夢を感じます。私の息子も絵が好きですが、描ける

幸せを感じて欲しい。

- 自分の第2の人生を踏み出す一歩として、骨髄バンクに登録してみたいです。あやちゃんの絵から強さをもらいました。
- アメリカの学校に送ります。小学生にもわかるように英文に直しました。
- 原画展を8歳の娘にも是非見せたかった。終わってしまうのは残念です。カレンダーと画集を送って下さい。
- クラスの子供達全員に贈りたいので30本下さい。

皆様、本当にありがとうございました。

第22回東京の会定期総会のお知らせ

東京の会の活動方向と活動方針を確認する定期総会を、6月25日(土)に西新宿の全労済東京会館会議室にて実施します。

定期総会後のイベントは医療講演会と患者交流会の予定を変更し、今回の「東日本大震災」のような、大災害時の造血幹細胞移植のリスク管理についての意見交換会を実施します。詳細は今後の東京の会通信で再度ご案内します。

日程：6月25日(土) 13:00~17:00

会場：全労済東京会館(新宿区西新宿7-20-8)

内容：定期総会

2010年度活動報告および会計報告

2011年度活動方針・宣言・役員改選

災害時の造血幹細胞移植についての意見交換会(予定)

新キャラクターの名前発表もあります。作者の愛本みずほさんも参加予定です。皆さまのご参加をお待ちしております。

心のこもったご寄付ありがとうございました。(2011.3.16~4.15)

和泉屋 正敏さん 2,000円/赤座 達也さん 10,000円/今村 薫さん 10,000円/山崎 いつ子さん 9,000円
鳥羽 雅行さん 10,000円/小磯 澄江さん 2,000円/鈴木 修司さん 2,000円

お寄せいただいたご寄付のうち、会費未納の会員からは会費(年3,000円)を差し引いて掲載させていただきました。

編集者

雑記



▼新年度がスタートしました。東京の会も4月16日に今年度初の定例会を開催しました。震災後1ヶ月が経ち東京の会のメンバーも被災地域の患者さんや医療施設の状況を考え、これからの危機管理も含めて何が必要となるのか、そして首都圏で同じような状況が起こった時にはどうなるのか、様々な意見が交わされました。

▼移植を受ける患者さんはどうなるのか？骨髄を採取するドナーはどうなるのか？人命に直結する問題です。政府や関係各所からは【想定外】の災害であったと報道されました。もちろん自然の大きな力に人間が逆らうことはできません。しかし、今回を教訓にして様々な状況に対応できる危機管理を考え、造血幹細胞移植医療の体制を真剣に模索する時にきています。

▼日本に骨髄バンクができて約20年。その間にさい帯血バンクの設立やグリベックの出現、非血縁者間末梢血幹細胞移植の開始等、血液難病患者を取り巻く環境は大きく変わりました。はたして【想定外】の状況に陥ったときに、それぞれの機関だけで最小限に被害を止めることはできるのでしょうか？大きな疑問を感じます。【想定外】の何かが起こった時の被害が、実は人災だったのではと疑問が残らないような社会が望まれます。

▼前号の会報でも触れ注目されていた財団の新役員体制ですが、評議委員会で理事を選任し、理事会で評議委員を選任するという、ちょっと理解に苦しむ方法で決まったようです。財団の新公益法人の認可が下りる

8月までは現行のままで業務がおこなわれますが、厚生労働省の方針で天下りの常務理事は再任されず退任となりました。

▼しかし、正岡理事長からの強い要請で「業務アドバイザー」という肩書きで、非常勤ではありますが同一人が同じ仕事をしています。もちろん有給の職員で人件費も発生しますが、財団の規定にはこのようなことは記されておりません。まさか、患者負担金から賄われるのではないかと杞憂し茫然自失です。また東北地方でのドナーコーディネートは再開されておらず、患者救済とドナーの安全を第一に考えると心が痛みます。

▼今回の震災からの復興に、どのくらいの時間を要するのか想像も出来ません。その上、日本の原子力安全神話という虚構の崩壊が明白となりました。12年前の東海村臨界事故後に設定された「緊急被曝医療のあり方について」のガイドラインの基本理念には、命の視点に立った対応と記されています。再度、心に深く刻まなければいけないことです。不幸にもその事故により亡くなった遺族の方から、治療にあたった医師に対しての手紙にはこう記されていました。

▼「事故以来、ずっと思うことは、自分勝手と言われるかもしれませんが、例え、あの事故を教訓に二度と同じような不幸な事故が起きない安全な日々が訪れたとしても、(中略)逝ってしまった人達に“今度”はありません。(中略)原子力というものに、どうしても拘わらなければならない環境にある以上、また同じような事故が起きるのではないのでしょうか。所詮、人間のすることだから……という不信感は消えません。それならば、原子力に携わる人達が自分自身を守ることができないならば、むしろ、主人達が命を削りながら教えていった医療の分野でこそ、同じような不幸な犠牲者を今度こそ救ってあげられるよう、祈ってやみません」決して忘れてはいけない念いです。(I)

東京の会 「5月定例会」 のお知らせ

5月21日(土)午後5時30分より
会場：全労済東京・レインボー会館3階会議室
※新宿駅下車7分(新宿区西新宿7-20-8)
※西新宿駅下車1番出口徒歩2分
青梅街道新宿警察署きらやか銀行の角入ってすぐ右側

※6月定例会予定・6月18日(土)午後5時30分より
定例会は毎月第3土曜午後5時30分 から開催しています。

6月会報発送 「おりおり」 のお知らせ

6月4日(土)13時00分より
※13時までは品川運輸さんが使用されています。13時以降にお越し下さい。
場所：品川運輸・4階会議室(品川区東大井2-1-8)
JR大井町駅徒歩8分・京浜急行鮫洲駅徒歩2分
※今お読みになっている「東京の会通信」を約1000部折って封入して発送します。簡単な誰にでも出来る作業です。いつも人手が足りません。どうかご協力を。
※7月「おりおり」予定・7月2日(土)13時00分より

新しい方大歓迎です。お気軽においで下さい。お待ちしております。